

海底広域研究船「かいめい」がJAMSTEC本部に初入港

2016年4月13日

3月30日に引渡された海底広域研究船「かいめい」は、4月6日JAMSTEC横須賀本部に初入港し、役職員や関係者が出迎えました。

「かいめい」は、地震探査システムによる海底下地殻構造探査、海底設置型掘削装置等による海底サンプリング調査、自律型無人探査機（AUV）の複数機運用やマルチビーム音響測深機などによる海底の精密調査により、日本周辺海域に存在する海底資源など、海洋の広域にわたる科学調査を加速させることが期待される研究船です。

今後、操船・操縦及び調査観測機器の試験や訓練を行い、平成29年度からの調査研究航海に備える予定です。



JAMSTEC横須賀本部に初入港する海底広域研究船「かいめい」



役職員や関係者が「かいめい」を出迎えました



入港後、栈橋に降り立つ須佐美船長ほか乗組員と出迎える平理事長ほか役職員



JAMSTEC横須賀本部栈橋に着岸中の「かいめい」

- [海底広域研究船「かいめい」](#)
- [プレスリリース「2016年3月31日発表」](#)
[海底広域研究船「かいめい」の引渡しについて](#)
- [JAMSTECニュース「2015年6月7日」](#)
[海底広域研究船を「かいめい」と命名 ～命名・進水式が執り行われました～](#)